

令和 6 年度 第 5 回上郷地域会議 会議録

- 日 時 令和 6 年 8 月 2 0 日（火） 午後 7 時から 8 時 4 5 分まで
■場 所 上郷交流館 2 階 ふれあいホール
■出席者 委 員 : 1 5 名
事務局（上郷支所）：下川支所長、小船担当長、伊藤主査

■次 第

「豊田市民の誓い」唱和

- 1 会長あいさつ
- 2 令和 6 年度第 4 回上郷地域会議の会議録の確認について
- 3 協議事項
(1) 検討分野の選定
- 4 その他
(1) 上郷地域バスについて
(2) 次回の地域会議について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 令和 6 年度第 4 回上郷地域会議の会議録の確認について

・第 4 回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た。

3 協議事項

(1) 検討分野の選定

- ・前回及び前々回会議の内容を振り返り、分野を選定する上での認識を共有したうえで、分野をいくつ選定するか、分野を何するかについて、事務局から説明があった。
- ・分野をいくつ選定するかについては、前回会議で複数の委員から 1 個に絞っていきたいという意見があったことを踏まえ、1 個選定することとした。
- ・分野を何にするかについては、各委員から提出された意見を分野ごとにまとめた「第 4 回意見シート まとめ（分野ごと）」から、各委員が興味のある分野を聞き取った後に、アンケート結果と各委員の意見を考慮し、「防災」を選定することとした。「防災」を選定した根拠は、令和 4 年度上郷地域会議アンケートで、上郷地域に必要な取組で 4 番目に高い分野であること。また、同アンケートで最も高い「防犯」は、「上郷防犯の日」が制定されている等過去の地域会議で一定の取組成果があること、「防犯」と同率で最も高い「高齢者・障がい者支援」は、上郷地域だけの問題ではなく全市的な課題であること、3 番目に高い「公共交通」は上郷地域バス運営協議会で協議されていること。加えて、昨今の災害の発生状況を鑑みて優先的に取り組むべき分野であること。

【意見・質問】

- ・（委員）検討分野をいくつ選定するかについて、前回の会議で検討分野は1つに絞った方が良いのではないかという意見があったことを踏まえ、1つに絞っていききたいと思うが、意見がある委員がいたら挙手をお願いしたい。

＜意見なし＞

- ・（委員）それでは、検討分野は1つに絞っていききたい。続いて、検討分野を何にするか決めていききたいが、意見のある委員は挙手をお願いしたい。

（委員）分野を決める参考として、委員の皆さんが、現状でどの分野に興味を持っているか確認してはどうか。自分が興味のある分野と他の分野への興味を考えて、2回まで挙手するという形でどうか。

＜委員が挙手した結果は以下のとおり＞

防災	交通安全	公共交通	防犯	健康 (公園整備含む)	高齢者 支援	まちづくり 環境問題
8	5	4	6	4	2	1

- ・（委員）挙手の結果、防災が最も多かったが、防災を地域会議のテーマとして選定するには、なぜこの分野を選定したかという根拠が弱い。令和4年度上郷地域会議アンケートの「上郷地域に必要な取組」では、防災は4番目であり、1番ではない。防災を選定することが悪いわけではないが、なぜ1番でない分野を選定したのか委員や地域の人々が納得できるよう根拠は明確にしたい。

（委員）畝部地区は畝部フェスタ&防災フェスタ in 柳川瀬といった防災への取組みがあるが、高嶺地区はそういったものはない。また、災害が発生した場合に、畝部地区の住民が上郷中学校に避難したら高嶺地区の住民は避難できない、といった防災関連の諸問題が多々ある。災害の被害の大きさにもよるが、そういった問題を解決できる方法について協議するために防災を選定しても良いのではないか。

（委員）前期から柳川瀬体育館について意見を言ってきたが、あの体育館は避難所ではないけれども、体育館を建て替える際には、浸水しない体育館にすることを地域からしっかりと一言わないといけない。これは水害時のためではあるが、水害時以外には炊出しができるよう、防災に強い公園になるよう地域会議から言っていく必要がある。

（委員）防災に強い柳川瀬体育館という意見だが、どれくらいの水害のことを想定されているか。例えば、1,000年に1度の水害では、地盤の高い地域でも3m程度浸水する想定で、そこまで立派な体育館ができるとはとても思えないが、どの程度のものを想定されているか。

（委員）せめて堤防の高さまでかさ上げすることを想定している。

（委員）畝部地区は、豊田市の中でも水害・震災に弱い地区であるため、テーマとして取り上げて良いと思う。そのうえで、住民の意識啓発をしていきたい。現状では、有事の際に、どのような方法でいつ避難したらいいか指示が出ないとできないと思う。避難訓練も重要であるが参加者が少ないため、自治区や様々な団体等で、情報を伝達できる方法を考えていけると良い。

- ・（委員）先ほど委員が興味のある分野について挙手した中で、2番目に多かった防犯に

ついて、何か意見はないか。

- （委員）防災・防犯は、みんなの命を守るという最も重要なことである。自分は、コミュニティ会議の防災・防犯委員会の委員でもあるため、地域会議の意見と集約して、地域の関心が高い内容に絞り込んでいけるのではないかと考えている。
- （委員）過去に防災・防犯委員会の委員として活動していたが、それでも自治区の中で空き巣被害や不審者が出たということが起きる。そこで、例えば、防犯カメラを地域全体に設置することができないかと考えている。ただ、至るところにカメラを付けるわけにはいかないため、カメラ設置中の啓発看板を地域内に設置して、抑止効果を高めることでこの地域は安全な地域だというアピールをしていきたい。
- ・（事務局）分野選定の進め方は、アンケート結果から絞り込むことに決まったかと思うが、仮に令和4年度上郷地域会議アンケートの結果を見るのであれば、防犯と高齢者・障がい者支援が最も高かったのに対して、防災は4番目で、単純に言えば、防犯か高齢者・障がい者支援で進めるのが順当である。ただ、防災も上位ではあるため、先ほど意見があったように、防災を選定する根拠が必要ではないか。
また、皆さんがそれぞれ課題とその解決策をイメージしているかと思うが、結論が先に来てしまうと、フラットに課題を分析することができなくなってしまったため、腹案として持つことは良いが、腹案とは別の分野について、知らない、耳にしないだけで、実は身の回りで問題が起きているかもしれないということを念頭に置いて御意見をいただきたい。
加えて、今日分野を選定しても、これから協議していく中で少しずつテーマが変わっていくことも考えられる。例えば、意識啓発等の汎用的な内容の協議になれば、防災をテーマに始めた協議が最終的には別の分野の協議になっていることもあるかもしれないということを踏まえて意見交換をしていただきたい。
- ・（委員）高齢者支援を選定したいと先ほど挙手をしたが、防災の中でも高齢者への情報伝達の方法や安否確認といった内容であれば高齢者支援に関わってくる。高齢者クラブがある自治区であればそういった支援が活動の中でできるが、ない自治区に対して何か手助けできる方法がないか、委員の皆さんの意見を聞きたかった。高齢者支援を選定したいという人が自分の他にもう一人いたが、高齢者支援も防災に関わることということで、この分野で協議して言ってはどうかということをお伝えしたい。
- ・（委員）最近、南海トラフ地震を含む震災やゲリラ豪雨等の災害が頻発している。それに対して協議をしていくということで、ここにもう少しを肉付けしていけば選定理由として良いのではないか。
- ・（委員）委員の皆さんはそれぞれ意見を持っているため、絞っていかないと分野が決められないと思う。その中で、防災に過半数である8名の委員が手を挙げられたため、スケジュールも考えれば、防災に絞って来月から協議していきたい。
- ・（委員）最近、災害の話が多く、旬な話題であるため取り上げていきたい。
- ・（委員）皆さんの意見を聞いていると、まだ入り口の段階で悩んでいる感じが見受けら

れるため、来月も分野の選定について協議していきたい。

- ・（委員） もともとアンケート結果から分野を絞っていくという考えで進めているため、それに従うのであれば、なぜ 4 位である防災を取り上げるのかということになるが、先ほど意見があったように、最近の地震で危機感が高まっており、旬な話題であるため良いのではないかなと思う。また、防災・防犯委員会の話もあったが、地域会議は市に提言できる会議体であるため、お互い協力し合って、この地域をより良いものにしていきたい。
- ・（委員） 自分は畝部地区に住んでいるため、水害が最も怖い。体育館が避難所になれば良いが、すぐにできるものではない。そうすると、防災を選定して何を協議すればいいのだろうかという迷いはある。
- ・（委員） 防災は自治区や畝部まちづくりの会で取り組んでいるが、上郷地区全体の連携についてもっと協議をした方が良いと思う。自分も防災・防犯委員会の委員で、今年 11 月に上郷地区全体の避難所運営訓練を実施する予定だが、そういったことをやっていけると良い。また、上郷地区の防災マニュアルの周知をしていきたい。
- ・（委員） 畝部地区の人たちが上郷中学校に避難すると入りきらない。水害時には高嶺地区の区民会館に逃げる等の畝部地区と高嶺地区の連携といった地域としての共助の仕組みができないかなと思っている。アンケートの結果について、防災の上位にあるのが、防犯、高齢者・障がい者支援、公共交通であるが、防犯は、毎年 12 月の第 1 日曜日は「上郷防犯の日」として啓発活動を行っており、それをうまく発展していけないだろうか。公共交通は、視点は多少異なるが、上郷地域バス運営協議会で議論することが可能である。高齢者・障がい者支援は、上郷地域特有の問題というよりは全体的な問題で、地域性を踏まえると水害や地震に対して上郷地域としてどうするかを協議していけると良い。
- ・（委員） 分野の選定の意見ではないが、前期は 2 つのグループに分かれて話し合いをしてきたため、活発に意見を言い合えることができた。前期の地域会議と比べると、他の人の意見を聞いている時間が長いため、活発に話し合うために 2 つくらい分かれて話し合っても良いと思う。
- ・（委員） 災害が発生する危険性が高いという意見が多いため、防災を選定するということが良いと思う。以前、上郷地区の避難所運営マニュアルを作ったが、実際にそれを使った訓練は各地域で 1～2 回しか実施されていないと思う。本来は、毎年自治区役員が実施すると良いため、そういったことを協議していきたい。また、畝部地区と高嶺地区の連携といった地域の助け合いについて話し合うことも大事かなと思う。
- ・（委員） 防災に対する意見が多かったが、まずはテーマを決めて進めていきたい。グループに分かれて進めてはどうかという意見について、前期は 2 つの分野に分かれて進めたが、1 つの分野に対して 2 つのグループに分かれて進めるという方法もある。それを踏まえて、検討分野を防災としたいがよろしいか。

＜異議なし＞

- （委員） では、検討分野は防災とする。

4 その他

・次の事項について、事務局から連絡があった。

(1) 上郷地域バスについて

(2) 次回の地域会議について

◆次回会議開催

◇令和6年度 第6回地域会議

と き：令和6年9月17日（火） 午後7時から

ところ：上郷交流館 2階 ふれあいホール